

買物の目やすに“認証マーク”を

地域的に生産され、流通、消費している豆腐・油揚げ・納豆・こんにゃくは保存性が低いなどの理由からJAS規格制度の適用途外食品となり、品質、製造、管理など業者まかせとなっています。しかし、これらの食品は私たちの食生活のなかに欠くことができないものです。

そこで県は、これらの食品について「認証基準」を定めました。認証

の表示を認めることによって品質の改善向上をはかると同時に、消費者がこれらの食品を買い求める目やすとしました。

認証の対象品目は、豆腐、油揚げ、納豆、こんにゃくの4品目で、納豆とこんにゃくは今年の10月からすでに実施されています。また、豆腐とこんにゃくも来年早々に実施されます。

認証された工場生産されるこれらの商品は、品質がすぐれたものと

見なされます。

=ご存知ですか=

納豆の可食期間は、一般的に夏4～5日、冬7～10日間程度です。こんにゃくは包装形態、保管状態によって変わりますが、一般的なもので20日～1カ月程度です。

この可食期間とは、食品をおいしく食べることができる期間ですからお求めになる時は、製造年月日をよくお確かめください。

認証マーク



一括表示例 (板こんにゃくの場合)

品名	板こんにゃく
原材料名	こんにゃくいも精粉・海草粉末・水酸化カルシウム
内容量	〇〇〇g
製造年月日	49.10.1
製造者	静岡県〇〇市〇〇町〇〇番地 ㈱〇〇蒟蒻店

農道や排水路などの 農地保全施設を充実

…富士南麓土地改良事業…

富士南麓土地改良区(大淵地区)では、さきごろ第1回総代会を開いて、新役員を選任、事業計画などの議案を協議しました。

大淵地区は富士山麓の傾斜地に位置し、西は富士宮市に接する市内でも農業の盛んな地域で、お茶や野菜類の特産地です。しかし地区内の農道はどれも道幅が狭く、農業経営近代化の障害となっています。また山麓はゆるやかで大きな斜面ですが侵蝕されやすい火山灰土壌におおわれ、排水路の不備なことから土砂が道路や農耕地に流れ込み、被害を及

ぼしています。

そこで、地区内の農道網整備とあわせ排水路などの農地保全施設を充実し、農産物の生産向上をはかります。

事業は今年度から昭和53年度までの5カ年計画で、13億円の事業費をもって行い、受益面積は434㌖にもなります。

計画では幅員6㍍の幹線農道を延長8800㍍、幅員3㍍以上の支線農道を延長14,980㍍建設します。このほか15路線に排水路を延長1630㍍、2路線に集水路を延長7000㍍、1路線に承水路を延長4300㍍設置します。また、水路兼農道として9路線、延長5900㍍の建設を行います。

